

日本学術会議第一部 社会学委員会 ジェンダー研究分科会（第24期・第4回）
分科会議事録

日時：2018年10月14日（日）

場所：明治学院大学白金校舎92番会議室

出席者：遠藤薫、海妻径子、上野千鶴子、江原由美子、木本貴美子、窪田幸子、小浜正子、
天童睦子、船橋恵子、本田由紀、宮崎恵子、柘植あづみ（出席12名）

参考人 二宮祐氏

1) 第3回の議事録の確認 承認された。

2) 参考人からの意見聴取

二宮祐氏（群馬大学・学術研究院）「大学における『新しい専門職』－政策と当事者」

分科会で継続して検討している「学術支援・研究職」の現状と課題を把握するために、参考人の調査結果を紹介いただき、質疑応答を行った。

要旨： 大学における「新しい専門職」が、学生の多様化への対応や教育改革の必要性からさまざまな教育・研究支援職（担当者）を配置するようになっている。しかし、その雇用状況は各機関によって異なっている。そのため、そのキャリアや処遇について横断的な調査を実施した。

3) 今後の活動の進め方について

①「学術支援・研究職」の現状と課題について

『学術の動向』11月号に特集が載るようになっていると報告があった。

②公開シンポジウムの開催について

テーマは「統計的差別について」に決まった。

講師、開催日程、場所などは後日メールにて知らせることになった。

4) その他

- 次回の分科会の開催日について話し合った。
- 今後取り上げるべきテーマについて議論した。
- GEAHSS への回答について
- 学術会議関連シンポジウム等のお知らせ

以上